

# 設計のポイント

## 収納

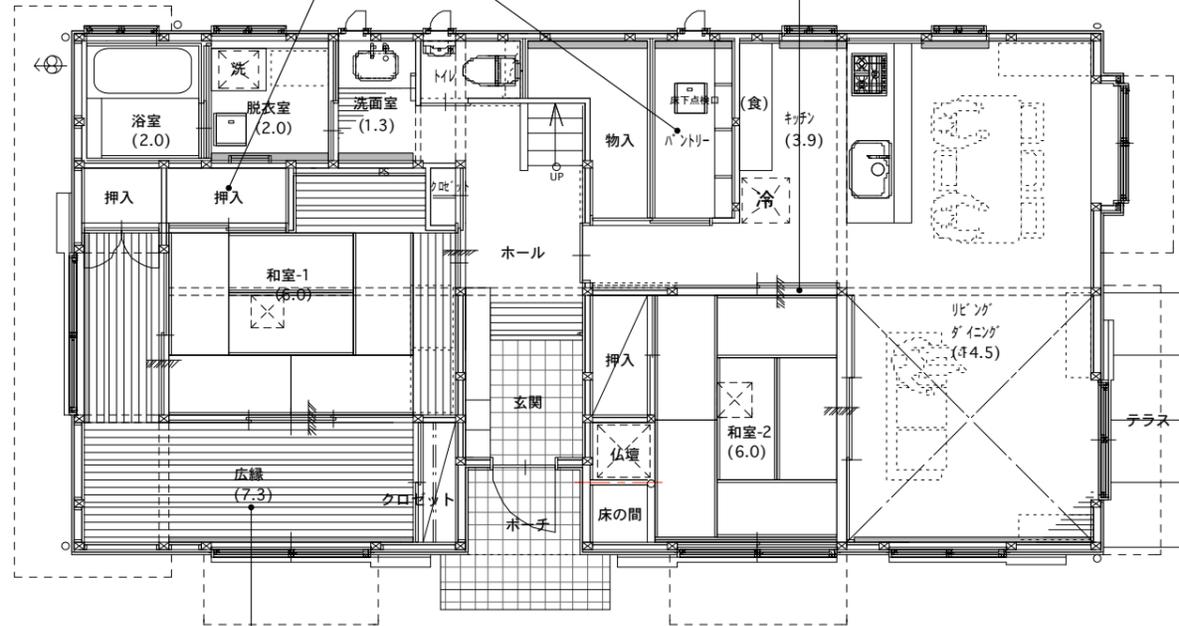
各部屋に、押入やウォークインクローゼット等をキッチンにはパントリーを設ける事で、部屋に置くものを最小にする事ができ、部屋を最大限に広々と使う事ができます。

## 引き戸

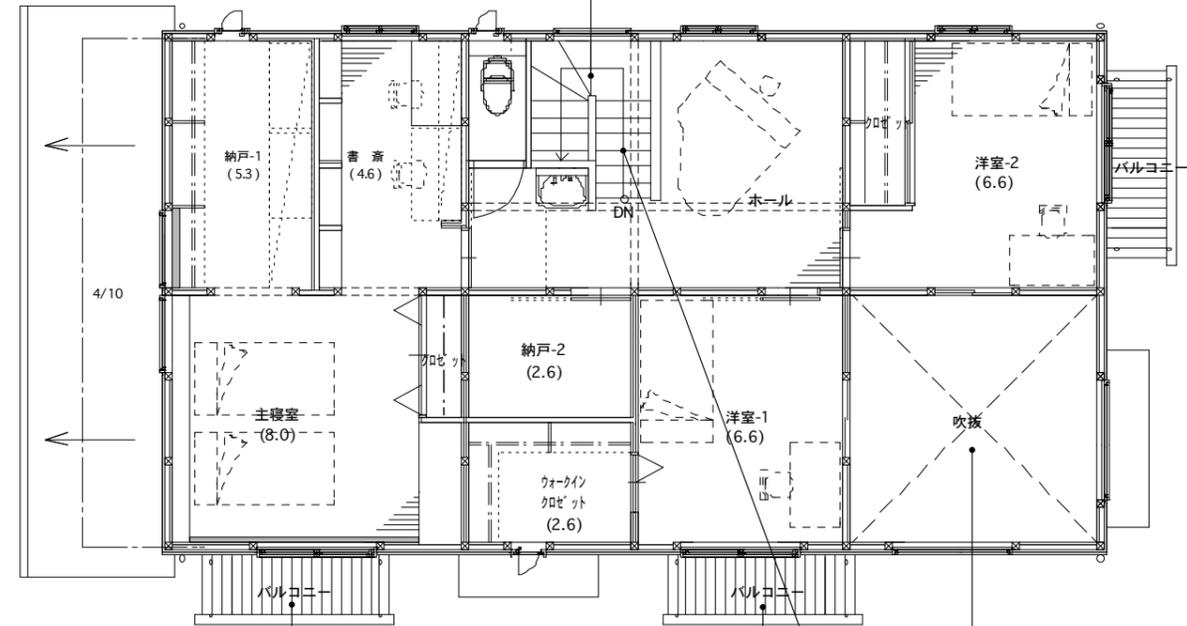
引き戸というのは、続き部屋を一体で使ったり、区切って使ったりが容易に使分けられます。この建物では、玄関と2階トイレ以外はすべて引き戸です。普段は開け放すことで、一体の空間として広々と使い、必要に応じて仕切って使います。

## 階段

1～2階への階段は踏面が230mm、蹴上が180mmと緩い勾配です。踊り場をとり大きな窓を設ける事で、明るく安全な階段になっています。



1階平面図



2階平面図

## 広縁

広縁は外部と部屋との緩衝帯となり夏は直射日光を防ぎ冬は部屋が直接外気と面さないで寒さを防ぎます。またこの建物では南側は通路、西側は駐車場のため、和室が寝室としてのプライバシーを守ってくれます。

## ハンギング・バルコニー

気密性の確保、防水のリスク回避等で鉄骨吊下げ式のバルコニーを、床をレッドシダーのすのこ板で、腰壁もレッドシダーで仕上げています。大きな窓で部屋を明るくする事とともに、下階窓の庇として日差しをコントロールしています。

## サッシ

この建物のサッシは寒冷地で多く使われている樹脂サッシです。気密性と耐風圧性が高く断熱効果に優れているので省エネルギーになります。またこの地域は夏の時期、南から北に風が吹きます。各部屋に南から北に風が通るように窓を配しているのでエアコンを設置してはいますが、スイッチが入る時期はごくわずかになる予想しています。

## 吹抜

換気システムとしては、吹抜が空気を動かす重要な道となります。また、上下の階をつなげる事で空間の広がりや結び付けが得られます。この建物では、東南のリビング上部を吹抜けとし、陽の光を取り込む事で省エネへの配慮と、リビングと子供室2部屋とをやわらかく、つないでいます。